

平成 29 年度の事業概況

JAたじまの自己改革の取り組み状況について

JAたじまでは、持続的な地域農業の維持・振興とくらしやすい地域社会の実現に向けて、総合事業の展開により、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする自己改革に取り組んでいます。平成29年度の主な取組状況と実績は以下のとおりです。

【重点とする取り組み】

○農業者の所得増大

取組事項	具体的施策	平成29年度の取組状況・実績
直販米の販路拡大	コウノトリ育むお米の関東圏への販路拡大	関東1都11県をエリアとする生協グループとの取引開始 [平成29年度実績] 48 t
	コウノトリ育むお米の香港定期輸出の開始	平成29年5月から香港現地高級スーパーへ定期輸出開始 [平成29年度実績] 5 t
環境に配慮した米づくりの促進	GLOBAL G.A.P.の認証取得	平成30年1月17日管内4農家とともにJAたじまが団体認証取得
稲作におけるコスト低減支援	生産コストの低減に向けた取り組み	担い手農家向け大型規格農薬の取扱いと割引の実施 肥料3銘柄を「いねめいじん744」に統一

○農業生産の拡大

取組事項	具体的施策	平成29年度の取組状況・実績
生産拡大に向けた経営支援	生産拡大に向けた農機等購入支援	水稻生産農家経営規模拡大支援 [平成29年度実績] 15件 2,376万円
	低利融資による経営支援	アグリマイティ資金融資 [平成29年度実績] 129件 3億9,766万円
重点振興品目の生産・販売拡大	ピーマン作付拡大に向けた支援	拍動灌水装置設置・苗代助成 [平成29年度実績] 81件 150万円
	生産拡大に向けたハウスリース支援	農業施設貸与事業等の実施 [平成29年度実績] 4件 1,087万円
但馬牛の生産振興	クラスター事業による牛舎整備支援	繁殖・肥育牛舎リース [平成29年度実績] 5経営体 7棟

○地域の活性化

取組事項	具体的施策	平成29年度の取組状況・実績
地域ふれあい活動への組合員の参画と活動の充実	組合員交流の活性化とグループづくり	ママ友くらぶ活動の実施と女性会フレッシュミズイベントの開催 [平成29年度実績] ママ友くらぶ 8回 フレッシュミズ親子イベント 1回
		男の料理教室の開催 [平成29年度実績] 5回
地域貢献の取組	交通安全教室の開催	スタントマンを起用した自転車交通安全教室の開催 [平成29年度実績] 管内5中学校
	婚活イベントの実施	本店調理施設を使用した婚活イベント「Sunday Kitchen」を開催 [平成29年度実績] 4回開催

営農事業

お米の振興

- 「JA たじまの平成 30 年産にむけた稲作の方向性と業務用米の作付」について、水稻大規模農家セミナーを開催して提案しました。
- コウノトリ育むお米部会の 4 名の生産者とともに GLOBAL G.A.P. を認証取得しました。主食用米の流通を目的とした認証取得は、全国の JA で初の取得となりました。



- 取り組み開始から 30 周年を迎えた「つちかおり米」と「フクノハナ」について、それぞれ記念式典を開催しました。
- 香港の現地高級スーパーへの販促活動の結果、初めての定期輸出として、コウノトリ育むお米の香港輸出を開始しました。(約 5 トン) また、シンガポールで販促活動を行うとともに、アメリカ・ロサンゼルスで開催された「ジャパニーズフードフェスティバル 2018」に出展しました。

特産物の振興

- たじまピーマンの産地拡大と安定生産に向けて、新規生産者や栽培面積を拡大する生産者への苗代助成や、拍動灌水装置設置助成を行うとともに、ピーマン包装施設の作業効率向上をはかりました。
- たじまピーマンの販売高は、契約販売の導入と夏場のピーク時に平均単価が安定したことなどから、昨年対比 106.7 %となりました。
- 朝倉さんしょの栽培本数の増大に取り組み、

集荷量の確保と冷凍加工による通年販売を行い、ブランド力の強化をはかりました。

- 美方大納言小豆は、一部省力出荷を取り入れるなど、但馬全域での栽培拡大に向けた取り組みをすすめました。

営農指導・利用・資材・農機事業

- 日高カントリーエレベーターの跡地に、「コウノトリ育むお米の 30 日苗」を管理する育苗ハウスを建設しました。
- TAC と総合支店長による訪問活動に取り組み、担い手農家や営農組織の皆さまからの JA に対する要望やご意見を伺いました。
- 経営規模の拡大を支援するため、農機等の購入補助事業に取り組みました。
- 県の補助事業である「農業施設貸与事業」などを活用したハウスリース事業に取り組みました。
- 大規模担い手農家を中心に、低コストの大型規格の農薬及び、銘柄を統一した肥料を提案・供給を行いました。
- 資材店舗では定期的なイベント販売を実施するとともに、農作業の時期に合わせた POP の掲示を通じて、商品情報の適切な提供につとめました。
- 鳥獣害の減少に向けて、但馬広域営農団地運営協議会と連携して対策研修会などを開催しました。

直売所の活動

- 開店 7 年目のファーマーズマーケット「たじまんま」は、地域の方はもとより多くの観光客にご来店いただき、6 億円を超える売上高を達成しました。
- 栽培講習会・出荷者大会では一層の手取り向上に向けて、新しい品目・花卉類などの情報を積極的に提供しました。
- 平成 30 年度オープンの「JA ファーマーズ・たじまんま和田山」出荷者総決起大会を

開催し、意思統一と意欲の高揚をはかりました。

- 豊岡北、出石、香住、浜坂の朝市のほか、豊岡、日高、養父、和田山の量販店内のインショップ「農協の八百屋さん」として、直売所の活動に取り組みました。

畜産事業

繁殖和牛・但馬産肥育牛の振興

- 但馬牛の継続的な改良方針が高く評価された結果、12月セリ市では過去最高の平均価格を記録し、但馬家畜市場の子牛平均価格は年間でも全国2位となりました。
- 宮城県で開催された第11回全国和牛能力共進会に県代表として種牛の部に11頭、肉牛の部に1頭出品しました。
- 第99回兵庫県畜産共進会が姫路市で開催され、JAたじま管内から種牛の部12頭、肉牛の部に7頭が出場し優秀な成績を収めました。

但馬牛のブランドを高める肉の店

- 兵庫県畜産共進会に出品された地元牛3頭を購入し、特別頒布企画や旅館・レストランでの特別メニュー用として販売しました。
- 但馬以外の方にも但馬牛の魅力を知ってもらうため、ふるさと納税の謝礼品としての提供や、インターネット販売に取り組みました。

福祉・経済・生活事業

くらしに安心を与える福祉事業

- 豊岡東デイサービスセンターや七釜デイサービスセンター、豊岡ショートステイにおいて訪問介護・居宅介護支援と連携した通所介護・短期入所生活介護サービスの提供を行い、利用者・家族の皆様に安心・満足していただける施設運営につとめました。
- 豊岡・浜坂・八鹿・和田山の各介護センターで訪問介護事業・居宅介護支援事業に加えて高齢者生活支援事業に取り組み、多くの方に

ご利用いただきました。

くらしの安全・安心を守る生活購買事業

- 国産原料商品を中心とした、安全・安心でくらしに役立つ商品を、「JAくらしの宅配便」を通して女性会員や組合員へお届けしました。

快適で環境にやさしいLPガス事業

- 24時間365日体制で、利用者の保安体制を堅持しました。特に高齢世帯への配慮として、器具の点検と安全指導を行う「シルバーサポート活動」に取り組みました。
- ガス器具合同展示会(ウィズガステん)をたじま隣接地で開催し、多くのお客様にご来場いただきました。

健康で文化的な生活を応援する生活文化事業・旅行事業

- 女性会の生活文化活動や健康福祉活動、組織購買に対する支援を行いました。
- 各支部単位で年金友の会旅行を実施し、多くの方に参加・交流いただきました。
- JAたじま海外特別企画として、「バンコク・アユタヤ4日間」「プラハ・ウィーン・ブタペスト7日間」を実施しました。

信用事業（地域密着型金融への取り組み）

農業メインバンクとしての取り組み

- 地域の農業メインバンクとして営農振興に資するため「農業応援アグリマイティー資金」の融資に積極的に取り組みました。
- 農畜産物の販売代金を有利に運用し農家を応援するため農家世帯支援定期貯金の取り扱いを行いました。
- 新たに新規就農者を対象とした税務相談会を開催し、17名にご参加いただきました。

生活メインバンクとしての取り組み

- たじまの農産物が当たるJA独自の選べる定期貯金キャンペーンを展開し、多くの方に

ご利用いただきました。

- 利便性向上のため、JAの口座で給与や年金を受け取っている方に向けた、他行・コンビニATMご使用時の手数料キャッシュバックサービスを実施しました。

利用者満足度の向上

- 日頃の取引に対する感謝の気持ちを伝えるイベントとして、全店一斉の窓口感謝デーを開催しました。
- 年金友の会会員へのサービスとして、誕生日・喜寿・米寿を迎えられた方へプレゼントをお送りしました。

共済事業

ひと・いえ・くるまの総合保障の拡大

- 世帯の保障点検活動「3Q訪問活動」を通じて、JA共済の普及拡大につとめました。

もっと便利に、さらに安心

- 広域災害の発生に備えて損害調査体制の充実につとめました。
- スタントマンによる自転車交通安全教室を浜坂・竹野・豊岡北・養父・生野中学校で開催し、交通安全の啓発活動を行いました。



- 子育て世代を応援する「JAたじまJA共済アンパンマン子どもくらぶ」の活動として、「アンパンマンショー」と「アンパンマン交通安全キャラバン」を開催し、多くの方にご来場いただきました。

組織面の活動

- 地域の活性化を目指し、組合員、支店運営委員会、役職員が協力して、「地域ふれあい活動」に取り組みました。
- 組合員同士の親睦を深めるため、ゴルフ大会と囲碁大会を開催しました。
- ママ友くらぶの開催を通じて、子育て世代の女性を応援し、女性会フレッシュミズ会員募集などの仲間づくりに取り組み、今年度初めてフレッシュミズ親子イベントを開催しました。
- 組合員相互の親睦を深める場として「男の料理教室」を開催しました。

教育・学習の活動

- 農と食のつながりを楽しく学び、但馬の農業を好きになってもらうため、地元の農家などに協力いただいて、小学生を対象とした食農体験教室「あぐりキッズスクール」を3会場で開催しました。
- 「あぐりスクール全国サミット」を豊岡で開催し、「あぐりキッズスクール」の活動を全国JAの前で発表しました。



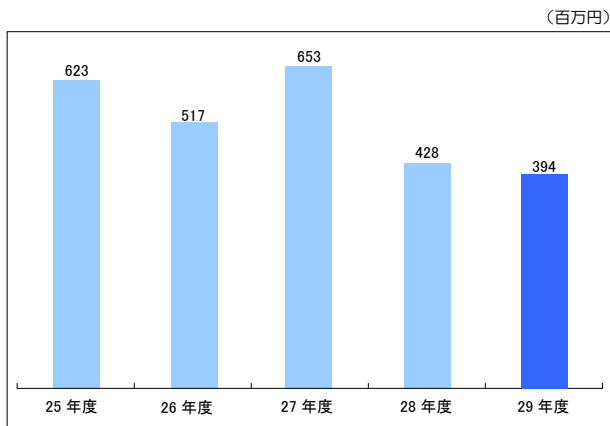
地域貢献活動

- 地域の活性化を目的に、本店調理施設「キッチンたじま」で婚活イベント「Sunday Kitchen」を開催し多くの方にご参加いただきました。
- 大相撲秋巡業「但馬場所」の開催にあたり、地元農畜産物の贈呈など特別協力を行いました。

平成 29年度の主な業績について

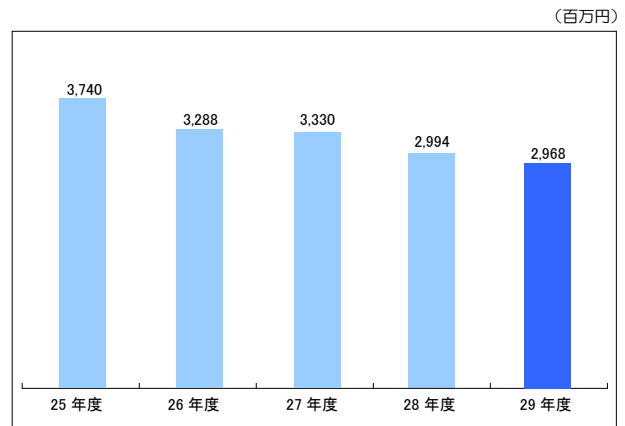
■事業利益

3 億 9,470 万円



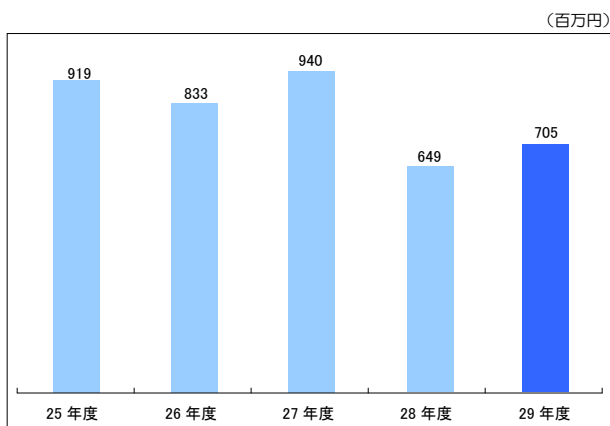
■購買品取扱高

29 億 6,880 万円



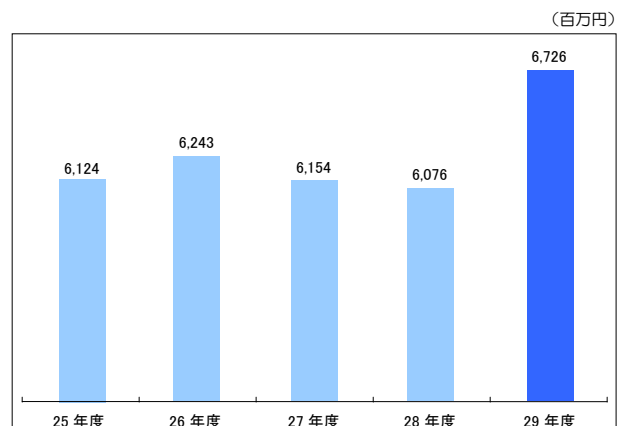
■経常利益

7 億 578 万円



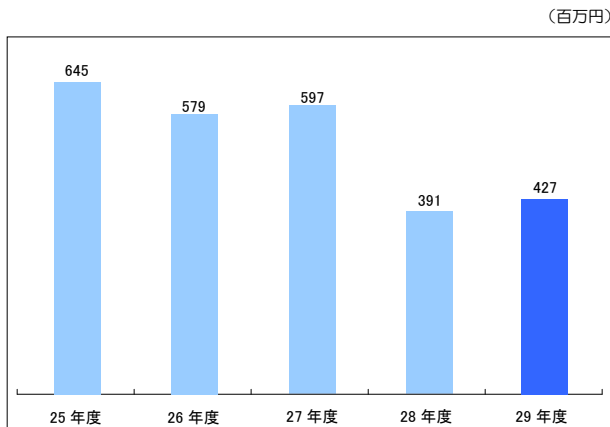
■販売品取扱高 (受託販売)

67 億 2,697 万円



■当期剰余金

4 億 2,771 万円



J A たじまでは、平成 25 年度決算にかかる配当より、出資配当に加え、新たに事業分量配当を導入しています。

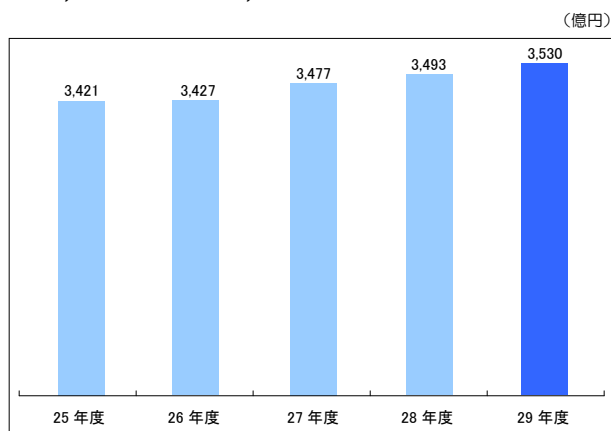
これは、「協同組合は利用者組織であり、組合員の事業利用によって生み出された剰余金は出来る限り組合員事業利用者へ還元する」という考えから導入したものです。

配当基準等については、41 ページの剰余金処分計算書をご覧ください。

平成 29 年度の主な業績について

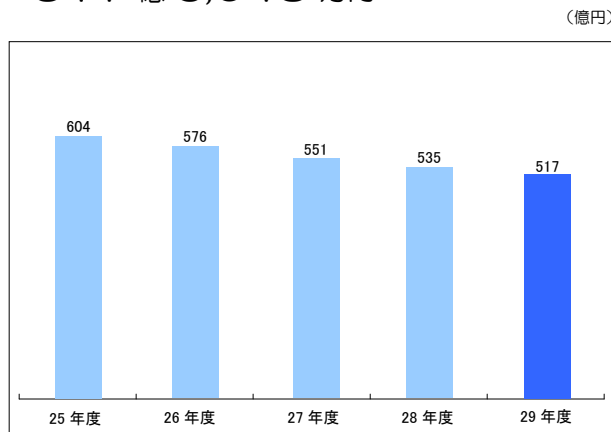
■貯金残高

3,530 億 4,451 万円



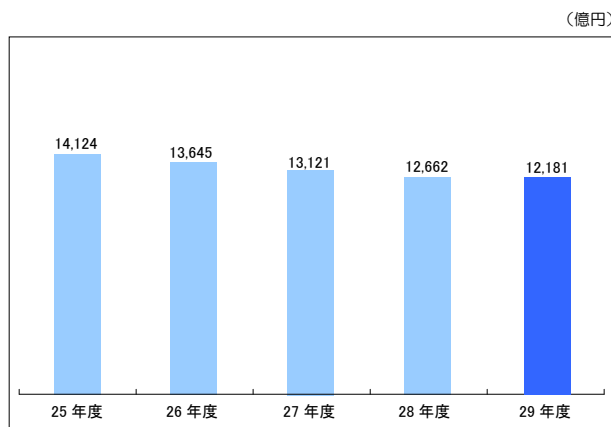
■貸出金残高

517 億 6,043 万円



■長期共済保有高

1 兆 2,181 億円

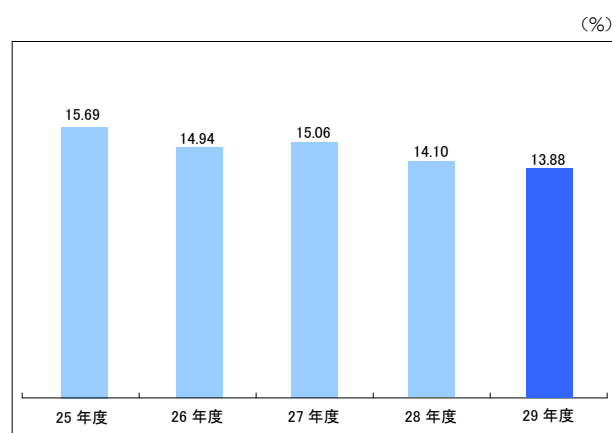


平成 29 年度の自己資本の状況

■自己資本比率

13.88%

当 JA では、多様化するリスクに対応するとともに、組合員や利用者のニーズに応えるため、財務基盤の強化を経営の重要課題として取り組んでいます。内部留保につとめるとともに、不良債権処理及び業務の効率化等に取り組んだ結果、平成 30 年 3 月末における自己資本比率は、13.88%となりました。(パーゼルⅢ規制に基づき算出)



■普通出資による資本調達額

項目	内容
発行主体	たじま農業協同組合
資本調達手段の種類	普通出資
コア資本に係る 基礎項目に算入した額	4,526 百万円 (前年度 4,570 百万円)

自己資本の詳細については、55 ページをご覧ください。